



3学年体育祭が開催されました



9月14日(水)素晴らしい秋晴れの下、3学年体育祭が開催されました。生徒たちは互いに声をかけ合いながら、のびのびと活動していました。各クラスの体育教科員の感想を紹介します。

「最初で最後の“喜びと悔しさ”」

1組 岡田 凛花

私たち1組は、午前中の球技で3位という結果でした。みんな悔しがっていました。午後の競技のリレーでは、学年練習の時1位だったのでみんな自信がありましたが、本番になると緊張や焦りでうまくバトンを渡せず、3位になってしまいました。でも、みんな諦めずにバトンをつなげ、最後まで頑張りました。大縄跳びでは、みんなで団結し、練習より多く跳ぶことができ、90回、95回と新記録を出し見事1位になることができました。そのおかげで3位から逆転し、総合2位になることができました。「もう1回やりたい。」という人が多かったけれど、この悔しさと喜びは2回やっても味わえないし、練習でも味わえないと思います。今回の体育祭はよい思い出になりました。

「～団結～2組」 2組 豊田 悠人

この体育祭を通して、2組は残念ながら結果でしたが、団結力を高めることができましたと思います。それは、結果より大切なことであって、今後の人生でも活かすことのできる経験ができたと思います。

また、運営の面でも、協力してスムーズに進行することができて良かったです。

「団結力」

3組 須永 優樹

今回、学年体育祭を終えて思ったことがあります。

まず1つ目は、僕は体育教科員なので運営をして、みんなのプレーを近くで観ていたのですが、どのクラスも助け合いながら楽しそうにプレーしていて、とても良い雰囲気だなと思いました。

2つ目は、リレーで転んでもすぐに立ち上がって走りきっている人がいて、クラスみんなのために全力を出すことができ、団結力が高まったなと思いました。

今回の学年体育祭によって、それぞれのクラスで団結力が高まったと思います。これから潮音祭などの行事で、その団結力を活かしていきたいです。

